

WEST LIFE

校長の目

令和8年1月29日(木)



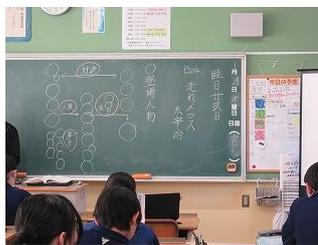
今冬は、記録的な少雨が続き、山間部のダムは軒並み貯水量が減り、危機的状況であるとニュースで伝えられています。学校もグラウンドや花壇は、カラカラに乾いていて、風が吹くと土埃がひどい状況です。このような中、環境委員会の生徒は、毎朝花壇に水やりを行っています。おかげで、パンジーやビオラは、なんとか咲き続けています。ただでさえ寒いのに、水を使う仕事は大変です。生徒たちは黙々と働いていて感心します。



昨日は、大井西中学校校区の小中連携協議会が三角小学校で開催されました。この協議会は、毎年2回実施されていて、1学期は大井西中で開催しました。授業参観では、先生と一緒にしっかり学んでいる児童の様子がよくわかりました。三角小学校では、自由進度学習に取り組んでおり、児童が目標に向かって自分で学びを進めていくという特徴的な取り組みをしていました。分科会は、「学力向上・小中地域連携部」「生徒指導部・特活部」「教育相談部」「特別支援部」「養護部」の5つの部会が設定され、小中の教職員が義務教育9年間を見据えた教育の連携事項や各種取り組みの確認、情報交換等が熱心に行われました。全体会では、各部会で話し合われた内容や次年度の計画等が発表されました。大井西中学校校区の小中連携は、年々充実度を増しています。



3時間目、2年生の国語の授業は、「走れメロス」でした。言わずと知れた太宰治の名著です。それもそのはず、中学校国語の教科書は4社が発行していますが、いずれの教科書にも「走れメロス」が、教材として収録されています。みんなが一度は読んでいる小説ということになります。「メロスは激怒した。」の書き出しは、とても印象的です。有名な小説は、書き出しが強く印象的に残るものです。いくつか挙げてみると…



『吾輩は猫である』 夏目漱石 吾輩は猫である。名前はまだない。

『雪国』 川端康成 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。

『風の又三郎』 宮沢賢治 どっどど どどうど どどうど どどう

小説の書き出しは、その小説全体の性格のようなものを色濃く表していますね。

明日、1月30日は、校内事情により「WEST LIFE 校長の目」は、お休みします。